

アフリカ日本協議会(AJF)、HANDS、SDGs市民社会ネットワーク(SDGsジャパン) 共催セミナー

## 「ケニアの現場からみたSDGs」

【日時】 2017年10月23日(月)18時30分～20時30分

【プログラム(敬称略)】

進行: 横田雅史 AJF 事務局長・HANDS 代表理事

・第1部(プレゼンテーション)

- 1) 新田英理子 SDGs市民社会ネットワーク・SDGs事業プロデューサー
- 2) 荒川勝巳 NGOサイディア・フラハ共同代表(AJF 会員)
- 3) 神戸俊平 獣医師(AJF 会員)
- 4) 中村安秀 HANDS 顧問・シニアテクニカルアドバイザー、甲南女子大学教授

・第2部(意見交換・質疑応答)

【講師紹介】

98  
大  
人  
1) 新田英理子  
大学卒業後、民間企業の社員教育部門勤務。環境 NPO などでの嘱託スタッフやボランティアを経て  
年4月より日本NPO センター勤務。主に交流・研修事業と相談事業、NPO 向けの講座、研修、全国  
大  
会などの企画・運営、企業の社会貢献プログラムの相談やNPOの運営相談の対応を行う。授業では、  
非営利法人制度のなかの NPO 法人に特化して最新動向について知見を共有いただく。認定 NPO 法  
人  
日本 NPO センター前事務局長、2017年4月より現職。

2) 荒川勝巳  
1985年 エチオピア飢饉に衝撃を受けケニアに渡り、東アフリカを歩きまわる。  
その後、ケニアの養護施設、孤児院で働いたのち、日本の特別養護老人ホームで働く。  
1993年 ケニア人の友人とともに、ストリートチルドレンを援助するための NGO を設立し、ナイロ  
ビ近郊  
に貧しい子供のための保育所を開き、「サイディア・フラハ」地位自立支援センターとして活動開始。  
2005年、社会貢献者表彰(主催:社会貢献支援財団)受賞。

3) 神戸俊平  
日本大学農獣医学部卒業後、就職したが、野生動物への思いをたちきれず、3年勤めたのち、アフ  
リカ  
へ渡る。ナイロビ大学獣医学部大学院修士課程修了。ケニアと日本を往復しつつ、獣医としてマサイ  
族の家畜の治療をおこなう一方、NGOとして野生動物の保護、ケニアの子どもたちに給食をおくる  
活動にもかかわっている。1982年第12回日本児童文芸新人賞「ぼくとキキのアフリカ・サファリ」受  
賞、1988年日本大学農獣医学部賞受賞、1995年外務大臣国際交流賞受賞、1997年第9回毎  
日国際交流賞受賞。

4) 中村安秀  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授。医学博士、大阪大学名誉教授。  
1986年、JICA 専門家としてインドネシアの農村部で母子保健活動を行ってから国際保健に関わる。  
NPO 法人 HANDS 初代代表理事、日本国際保健医療学会理事長、国際ボランティア学会会長、  
国際臨床医学会理事、日本渡航医学会理事、国際母子手帳委員会委員長、  
ジャンプラットフォーム副代表理事、2015年第43回医療功労賞(主催:読売新聞社)受賞

以上